

お茶の時間 「チコちゃんに叱られる！」

杉本 順則 陸自77

NHK金曜夜（再放送土曜日朝）放送の「チコちゃんに叱られる！」という番組が面白い。チコちゃんは、巨大なおかつぱ頭が特徴の5才の女の子で、チコちゃんの素朴な疑問に大人が答えられなかったり、間違ったりすると、頭が膨らみ、顔を真っ赤にして「ポーっと生きてんじゃねえよ！」という決めゼリフを言う娯楽プラス教養番組である。

素朴な疑問は、大人にとつてある意味恐怖である。「自転車に乗るときに左側から乗るのはなぜ?」「ビュッフエスタイルをなぜバイキングと言うの?」「始球式で打者が空振りするの?

はなぜ?」「刺身つてなぜ刺すなの?」など、えっ?と思う質問に戸惑うと同時に、いくつか解答らしきものがある。いつもものの自信もなく、確かに不思議だなあといい、チコちゃんに叱られてしまう。そして、正解とそれにまつわるエピソードなどを学ぶと、つい他人に話したくなるのである。

借行会員の方々は、本誌をはじめ読書をされていると拝察するものの、頭休めに推奨する次第です。かつてポンヤリしている息子に、「なにやってるんだ?」と聞くと、「うん、ポーっとしてるの」と答えたので、ひっくり返ったことがある。そういう私も小さい頃、質問攻めで親や先生を困らせた覚えがあるけれど、いつの間にか「あまり関係ないや」とか「どうでもいい」とか「関係あっても大したことない」ことが増えてきて、見過ごしたりすることが多くなったことにも気づくのである。孫ができ、素朴な疑問を次々に繰り出してきたときに何でも答えられて、「おじいちゃん、凄いい」と言わせてみたいものである。

私も、ポーっとテレビばかり見ていて、いつの日か、「ポーっと生きてんじゃねえよ!」とチコちゃんに叱られないようにしないと。